

みちのく環境だより

環境省東北地方環境事務所

<http://tohoku.env.go.jp>



「伊豆沼の朝焼け」

東北地域における環境問題の取組と東北地方環境事務所の活動内容を紹介しています。

◆ 石原環境大臣挨拶



◆ 徳丸所長講演



◆ サイドイベントの様子



◆ アクティブレンジャー写真展にて東北の魅力を紹介

環境省とIUCN(国際自然保護連合)の主催により、平成25年11月13日(水)から17日(日)にかけて宮城県仙台市において、第1回アジア国立公園会議が開催されました。この会議には、アジアの国々を中心とした40の国と地域から、政府関係者、研究者、NGO関係者など約800人が参加しました。

13日(水)には、石原環境大臣とIUCN会長から開催の挨拶があり、その後、登山家の田部井淳子氏などから3つの基調講演がありました。

「第1回アジア国立公園会議」が仙台市において開催され、アジアの各国が国立公園をはじめとする保護地域についての課題や成果を共有し、今後の連携や各国の対策強化につながる会議となりました。

APE
1ST ASIA PARKS CONGRESS
AND 1ST PARKS CONGRESS

アジア国立公園会議が開催

講演がありました。

会議では、ワーキンググループ、ポスターセッション、サイドイベントなどで300を超える報告や発表があり、東北地方環境事務所からも三陸復興国立公園や白神山地世界自然遺産地域、磐梯朝日国立公園などの保護地域における先進的な取り組みを世界に向けて発表しました。また、アクティブレンジャー写真展(10頁以降に掲載)を開催して、東北地方の美しい風景やそこに息づく動植物の姿をアジア

各地から参加いただいた方に情報発信をしました。
(次項につづく)



◆ 会場フロアの様子

◆ ポスターセッションにて三陸復興公園を紹介

◆ 八戸コース（蕪島）

◆ 八戸コース
（種差海岸）

◆ 軽食の提供

◆ 気仙沼コース
（舞根）◆ 気仙沼コース
（亀山園地）

16日（土）には、三陸復興国立公園などの取組が進められている東日本大震災の被災地を案内するエクスカージョンが開催されました。

八戸コースでは、ウミネコで有名な蕪島や新たに三陸復興国立公園に編入された種差海岸を案内し、種差海岸では、地元の方々からの軽食の提供があり、参加者を喜ばせました。

宮古コースでは、震災後いち早く国立公園の利用施設が復旧した浄土ヶ浜、震災遺構を保存し、自然の脅威を伝える場として環境省が再整備を進めている中の浜キャンプ場跡地を視察し、被災したホテルを活用した田老地区の「学ぶ防災プログラム」を体験しました。

気仙沼コースでは、国立公園の利用拠点で、震災後いち早く避難路を整備した田中浜を視察し、舞根湾において震災後に地盤沈下によって水没した場所を干潟として保全する活動を紹介しました。

仙台海浜コースでは、環境省が津波後に東北地方太平洋沿岸の自然環境の変化状況を経年的にモニタリングしていることや、国指定鳥獣保護区である蒲生干潟において詳細な生物相の調査を行っていることを紹介しました。

最終日には、会議での発表者や参加者から提出された意見や全体会合における議論をもとに、自然保護と地域の発展の両立に向けたアジアの経験に基づいた指針ともいえる「アジア保護地域憲章（仙台憲章）」をとりまとめました。この憲章は、来年11月に開催される第6回世界国立公園会議を主催するIUCN、世界保護地域委員会及びオーストラリア政府に手渡されます。

APE 4日目

1ST ASIA PARKS CONGRESS
JAPAN 2013 | PARKS CONNECT

エクスカージョン

三陸復興国立公園の取組を 現地で紹介しました

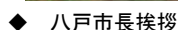
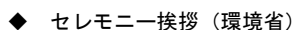
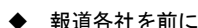
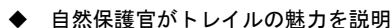
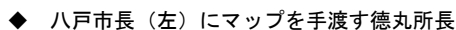
◆ 宮古コース
（浄土ヶ浜）◆ 宮古コース
（田老）◆ 仙台海浜コース
（蒲生干潟）◆ 仙台海浜コース
（海岸公園冒険広場）

みちのく潮風トレイル 一部区間開通

100 kmの区間について、一部開通しました。

判)を手渡しました。

ルートの選定にあたっては、地域住民の方々と何度もワークショップで議論を重ね、地域の魅力的なビュースポット、歴史、おすすめグルメなどを選びすぐってきました。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。八戸自然保護官事務所自然保護官から、今回、これらを盛り込んだルートマップが完成



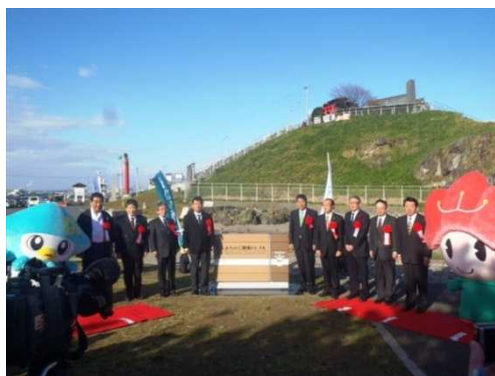
したので、これを活用していた
だき地域一丸となつて盛り上げ
ていきましようと言言があり、
トレイルの魅力などについて説
明しました。みちのく潮風トレ
イルは、開通することが最終目
的ではありません。これからが
本当の出発です。地域の皆さん
やトレイルを歩くハイカーの方
々と一緒に、より魅力的な道
を作り上げていきたいと考えて
います。

翌11月30日(土)には、トレイルの北の玄関口となる八戸市蕪島(青森県)において、八戸市、階上町、洋野町、久慈市の各市町長はじめ地域の皆さんと

起終点標識（モニュメント）のお披露目を行いました。

セレモニーでは、環境省自然環境局長（総務課長代読）が、多くの報道関係者を前に「開通が最終目的ではなく、多くの方々がトレイルを歩き、様々な交流が生まれ、地域のにぎわいが増し復興が進むことが大事」と挨拶しました。また、共催の八戸市の小林市長からは「訪れた人を地域がおもてなしする仕組みを作り、より魅力あるトレイルに発展させたい」とのお話があり、セレモニーに参加した皆さんでトレイルの発展とそれを活かした復興への想いを共有しました。

(次項につづく)



◆ 晴れ渡ったオープニングセレモニー



◆ トレイル設定に関わる環境省職員



◆ 種差海岸インフォメーションセンターの施設概要説明

前日夕方から雪が降る空模様となり、セレモニーの開催も心配されましたが、当日、早朝は鉛色だった空も開会する頃には青空が広がり、晴れやかなトレイルの幕開けとなりました。

この後、トレイル沿いの種差海岸天然芝生地前では、環境省と八戸市が来年7月のオープンを目指して整備している種差海岸インフォメーションセンター（仮称）などの工事安全祈願祭が、地元選出の大島理森衆議院議員をはじめ多くの方々の参列のもと、開催されました。

この場をお借りして、インフォメーションセンターの施設概要やコンセプトについて、八戸自然保護事務所自然保護官か

ら説明しました。完成すれば、館内から広大な芝生地と青い太平洋を眺め、のんびりくつろぎながら三陸復興国立公園やみちのく潮風トレイルに関する利用情報などを得られる、便利な利用拠点となる予定です。どうぞご期待ください！

○3県沿岸市町村（岩手県・宮城県・福島県（避難区域を除く））の処理状況（平成25年10月末現在）

	災害廃棄物 等推計 (万 t)	災害廃棄物			津波堆積物			仮置場 設置数
		推計量 (万 t)	処理		推計量 (万 t)	処理		
			量 (万 t)	割合 (%)		量 (万 t)	割合 (%)	
岩手県	522	377	326(305)	86(82)	145	109(97)	75(63)	34
宮城県	1,805	1,087	1,020(968)	94(91)	718	619(564)	86(79)	42
福島県	337	171	102(99)	59(58)	166	65(59)	39(36)	28
合計	2,665	1,635	1,447(1,372)	89(85)	1,029	793(720)	77(69)	104

※()内は平成25年9月末の数値。

福島県の災害廃棄物等については、目標期間内に仮置場への搬入完了を目指すと共に、本年度末までの処理を可能な限り進め、平成26年度のできるだけ早期の処理完了を目指します。

岩手県と宮城県については、県内処理体制の整備等により処理先の確保を完了しており、災害廃棄物、津波堆積物とも平成26年3月までに処理可能と見込まれます。今後も目標期間内でできるだけ早期の処理完了を目指して、きめ細かな進捗管理を実施していく方針です。

環境省は11月29日、10月末時点の災害廃棄物等処理状況を公表いたしました。3県沿岸市町村の災害廃棄物処理は全体の約9割完了し、津波堆積物処理割合は8割近くに到達しました。

新たに岩沼市（県委託分含む）で処理が完了したほか、宮城県では気仙沼ブロックや仙台市など一部地域で可燃物の処理が終了する等、がれき処理は着実に進んでおります。

災害廃棄物処理の進捗状況（概要）

東日本大震災から2年半以上が経過し、大量に発生したがれきの処理もいよいよ大詰めを迎えております。ここでは、がれき処理をめぐる近況を報告いたします。

※災害廃棄物処理状況については、以下の URL よりご覧頂けます。

<http://kouikishori.env.go.jp/news/index.html#news131129a>

3R推進東北大会2013が開催

平成25年10月24日(木)～26日(土)、夢メッセみやぎ(仙台市宮城野区)において3R推進に関する理解と協力を求めるとともに、循環型社会の形成に向けた取組を推進するため、3R推進東北大会2013が開催され、3日間をおして多くの来場者で賑わいました。



「エコプロダクツ東北2013」と併催となった「3R推進東北大会2013」では、ステージイベントとブーシイイベントを開催しました。

ステージイベントでは、地元で活動している2人組音楽ユニット「イケメン、ズ」による3Rトークショー&ミニライブを開催しました。トークショーでは、イケメン、ズのお二人に「3Rいいね!宣言」(普段の生活の中でできるちよつとした3Rを実践する宣言)を紹介してもらい、来場者と一緒に3Rについての理解を深めていただきました。

ブースにおいては、今年4月に施行された「小型家電リサイクル制度」についての解説パネル及び携帯電話の模型を展示し、使用済小型電子機器等の再資源化促進を理解していただくとともに、子供から年配の方まで、多くの来場者に、3Rに関するクイズにチャレンジしていただき、3R関連の知識を深めていただきました。また、ワークショップにおいては、講師による「ふろしき包み講座」、「エコサイエンスショー」、NPO法人の協力による「買物ごっこゲーム」等を楽しみながら、日常生活の上でエコにつながる活用と智恵を紹介しました。また、仙台市の協力による「リサイクル品」を展示し、仙台市のリサイクル品取組及び問合せ先等の紹介コーナーを設けました。

さらに、ブース来場者の方々に「3Rいいね!宣言」として「来場されて感じたこと」、「これから取組みたいこと」などを宣言カードに書いていただき、それをブース中央の「3Rの木」に掲示し、他の人の行動取組を参考にしていただきました。

また、県内小学校による「エコキッズ探検隊」(宮城県主催)の子供たちがブースを訪問し、スタッフによる3Rに関する説明に熱心に耳を傾け、アンケートやクイズにも取り組んでいました。

3日間のブース来場者は1千百名余におよび、その方々が体験していただいたことを各家庭にて活かしていただければ幸いです。



◆ 「イケメン、ズ」3Rトークショー



◆ 携帯電話模型でリサイクル解説



◆ 洒落た包み方～ふろしき包み講座



◆ エコキッズ探検隊



◆ 3Rの木に「3Rいいね!宣言」を貼付

「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」が開催されました

■ 若者に狩猟の担い手となるきっかけを提供しようと、平成25年11月9日(土) 夢メッセみやぎで「狩猟の魅力まるわかりフォーラム」が開催されました。

■ 近年、シカ、イノシシ、クマなどが人里に出没し、人身、農作物被害を与えるなど、野生鳥獣と人間との軋轢(あつれき)や生態系への悪影響が問題となる一方、増えすぎた野生鳥獣の個体数の調整や、有害鳥獣の捕獲に重要な役割を果たすハンターの減少や高齢化が続いています。

■ ハンターの減少を食い止め次の担い手を確保するためのフォーラムが開催され、今回は特に、若者に狩猟への関心や意欲をもってもらうことを狙いと

■ した講演、ブース展示などが企画され、会場には200名以上が訪れました。

■ 「生活スタイルとしての猟師」と題した講演(ハンターズトーク)では、普段の仕事に就きながら狩猟をし、周りの自然や野生鳥獣の恵みを生活の中に取り入れ野外学習などの講師も務める、千松信也さん自らのライフスタイルが紹介されたほか、トークセッション「私がハンターになった理由(わけ)」では、パネリストとなった若手ハンターたちの生の声に、参加者

は興味深く聞き入っていました。

■ 会場では模擬銃の展示、狩猟免許取得相談所を開設、ブース展示では狩猟道具(わな)の展示や実演、模擬銃で画面の獲物を狙うハンティング模擬体験のコーナーも設けられ人気を呼んでいたほか、若手ハンターたちと交流を図る「ハンターズカ



◆ ハンターズカフェでの交流



◆ 千松氏によるハンターズトーク



◆ 若手ハンタートークセッション



◆ 模擬銃の展示



◆ 狩猟免許取得の相談コーナー



◆ 狩猟道具の紹介

■ フェ」ではハンターと来場者が狩猟について熱心に語り合う姿が見られました。

■ また、ジビエ料理もふるまわれ、用意したシカ肉のテリーヌ200食はすぐに完食となりました。

■ 本フォーラムを通じて、将来の鳥獣保護管理の担い手の確保につながることを期待します。



◆ ジビエ料理の試食コーナー

環境カウンセラー研修

平成25年11月29日（金）、福島市の「コラッセふくしま」において、環境カウンセラー研修（東北地区）を開催しました（福島環境カウンセラー協会運営）。

環境カウンセラーは、環境保全に関する専門的知識や豊富な経験等を有し、環境保全活動に関する助言等を行うことができる人材として、環境省の行う書類・面接の審査を経て「環境カウンセラー登録制度」に登録されている方々です（平成25年3月末現在4086人）。

当日は、北は青森県、南は神奈川県、川県の環境カウンセラー36名の参加があり、事務所から「環境行政の動向」と「環境カウンセラー登録制度・ESD」を説明したのち、福島大学教授佐藤理夫氏から、基調講演『再生可能エネルギーが日本を救う』と題して、福島原発事故の現状や、再生可能エネルギーが果たす役割等の講演をいただきました。午後からは、環境カ



◆ 好評だった佐藤教授の講演

12月は 大気汚染防止推進月間

例年、12月は自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房の他、気象条件の影響等により、大気汚染物質濃度が高くなる傾向があります。環境省では、毎年12月を大気汚染防止推進月間として、きれいな空を守ることの大切さを呼びかけています。また、大気汚染物質「PM2.5」も大きな関心を呼んでいるところです。

この機会に大気汚染の防止について、みんなで考えてみましょう。

皆様へのご提案

1. 自転車や公共交通機関の利用を心がけよう
2. 暖房の適切な使用を考え、ウォームビズを心がけよう
3. 環境負荷の軽減に配慮したエコドライブを実践しよう

あきたエコ&リサイクル フェスティバル

平成25年9月7日（土）～8日（日）、秋田市の買物広場大屋根「ビッグブルー」において、省エネルギーやリサイクル推進を目的とした「第13回あきたエコ&リサイクルフェスティバル」が開催され、2日間をとおりした会場全体の来場者は約2万2千名と、多くの方々に来場いただきました。

イベントにおいては東北地方環境事務所と東北経済産業局が共催で「東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議」ブースに

出展し、節電等による温暖化対策効果や、「私の朝チャレ」宣言の募集、J-クレジット制度について紹介しました。

発電体験では、手回し発電機での発電によるLED蛍光灯と豆電球の点灯時の、力の加減に大きな違いがあることに驚いていました。



◆ 子ども達に大好評！
体験をとおりて節電を実感

また、子ども達にはヒーローもののドラマによるDVDで、環境に対する意識をもってもらうと同時に、エコについても理解を深めてもらいました。

「私の朝チャレ」宣言（朝から気持ちよく始めるエコ）では、多くの方々から朝のエコチャレンジ宣言をいただき、朝の早い時間の洗濯や清掃が上位を占めていました。

今回の体験を、それぞれの家庭に持ち帰って今後の温暖化対策に活かしていただければ幸いです。

※環境カウンセラーについては、以下の URL よりご覧頂けます。

<https://edu.env.go.jp/counsel/>

これから様々なイベントを開催します。

詳細は各問い合わせ先にご確認ください

期日	行事名	開催場所	行事概要	参加対象	参加費	問い合わせ先	ホームページアドレス
1月4日(土)	雪の参道を歩く	羽黒山	羽黒山千年ご縁年、雪の石段を登って参拝します。	一般	1,000円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
1月11日(土)	お正月クラフトづくり	浄土ヶ浜ビジターセンター	コマと羽子板に絵付けをします。	親子一般	500円	浄土ヶ浜ビジターセンター運営協議会	http://www.iodoga-hama-vc.bz-office.net/
1月12日(日)	初歩のスノーシューレッキング	月山ビジターセンター周辺	月山ビジターセンター周辺をスノーシューで散策します。	一般	1,300円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
1月19日(日)	スノーシューレッキング	羽黒山	羽黒山旧参道をスノーシューで散策します。	一般	1,300円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
1月25日(土)	アニマルトラッキング (スノーシューハイク)	鞍掛山麓	滝沢市と共催で行う冬の恒例行事、冬の動物の生態を観察を行います。	一般	大人:500円 子供:300円	網張ビジターセンター(TEL019-693-3777)	http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/
2月2日(日)	スノーシューレッキング	月山ビジターセンター周辺	荒沢寺周辺をスノーシューで散策します。	一般	1,300円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
2月7日(金) ～ 2月9日(日)	出張展示「イヌワシも恋する生命体？」(仮)	イオン三川	もうすぐバレンタインデー！人は言葉で愛を伝えることができますが、イヌワシは？希少猛禽類イヌワシの恋愛に迫る3日間です。	一般	無料	鳥海イヌワシ みらい館 (0234-64-4681)	http://www.raptor-c.com/
2月9日(日)	スノーシューレッキング	羽黒山	冬の南谷をスノーシューで散策します。	一般	1,300円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
2月16日(日)	大湯村で雁の北帰行を見送ろう！	大湯草原鳥獣保護区ほか	北の繁殖地へ向けて北帰行を開始し、大湯村周辺に大集結している雁の群れを観察します。	一般	100円 (傷害保険料)	秋田自然保護 官事務所	http://tohoku.env.go.jp/
2月21日(金) ～ 2月23日(日)	雪明かりで楽しもう	月山ビジターセンター	月山ビジターセンターの駐車場で雪灯籠を作りましょう。	一般	無料	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
2月22日(土)	岩手山麓岩鷺ノ滝スノーハイク	岩手山麓	冬にしか行けない、見ることが出来ない岩鷺ノ滝をスノーシューで訪ねます。	一般	大人:500円 子供:300円	網張ビジターセンター	http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/
2月22日(土)	ナイトスノーシューレッキング	月山ビジターセンター周辺	二夜の池周辺をスノーシューで散策します。	一般	800円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
2月23日(日)	ワシタカ観察会 「冬のワシタカ探し」	おうら愛鳥館 (鶴岡市大山下池)	ラムサール条約の下池はカモなどの水鳥が越冬地として利用しており、それらをねらってやってくる冬の猛禽類を観察します。	小学生～ 一般	200円	鳥海イヌワシ みらい館 (0234-64-4681)	http://www.raptor-c.com/
2月23日(日)	組み木のお雛様を作ろう	月山ビジターセンター	木の端材からお雛様を作ります。	一般	700円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuuo.kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html

期日	行事名	開催場所	行事概要	参加対象	参加費	問い合わせ先	ホームページアドレス
3月2日(日)	スノーシュートレッキング	北月山エリア	北月山荘から鶴巻池をスノーシューで散策します。	一般	2,500円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuruo-kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
3月9日(日)	鎌倉森雪上トレッキング	岩手山麓	残雪の鎌倉森をスノーシューでハイキングします。	一般	大人:800円 子供:600円	網張ビジターセンター	http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/
3月15日(土)	環境省主催冬の自然観察会	薦野鳥の森	スノーシューをはいて、冬の薦野鳥の森トレッキングします。	小学生以上 ただし小学生の方は保護者同伴	500円	環境省 十和田自然保護官事務所 TEL 0176-75-2728	http://tohoku.env.go.jp/
3月22日(土)	スノーシュートレッキング	月山山麓	月山牧場から月山2合目までスノーシューで散策します。	一般	1,300円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuruo-kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html
3月23日(日)	残雪の奥産道を歩く	岩手山麓	残雪の奥産道をスノーシューでハイキングします。	一般	大人:800円 子供:600円	網張ビジターセンター	http://www17.ocn.ne.jp/~amihari/
3月30日(日)	スノーシュートレッキング	月山山麓	月山牧場から北月山荘までスノーシューで散策します。	一般	2,500円	月山ビジターセンター運営協議会	http://www.tsuruo-kakanko.com/haguro/kankou/visitor.html

環境省東北地方環境事務所

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-2-23

仙台第2合同庁舎

電話:022(722)2870(代表)

FAX:022(722)2872

電子メール: REO-TOHOKU@env.go.jp

(リサイクル、有害廃棄物輸出入関係、地球温暖化対策、石綿健康被害等に関すること)

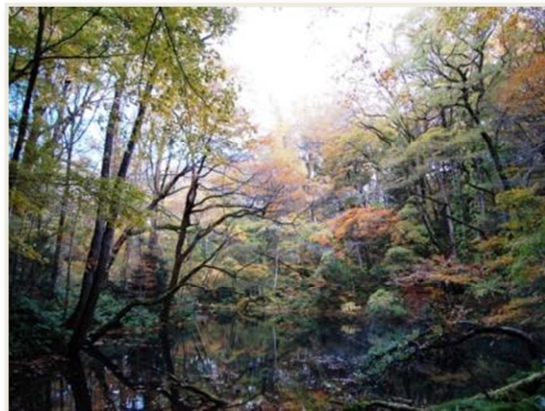
電子メール: TOHOKU@env.go.jp

(国立公園、エコツーリズム、自然再生、野生生物、外来生物等に関すること)



雪溪
【白神山地世界遺産地域】
【青森県西目屋村】

2012年、豪雪による爪痕は甚大でした。
しかし、貴重な景色を見ることが出来ました。



紅葉の沸壺(わきつぼ)
【白神山地世界遺産周辺地域】
【青森県深浦町】

青く透明な沸き壺の池。色づいた木々と湖面
に映った景色が幻想的でした。



霧の中で
【国指定十和田鳥獣保護区】
【青森県十和田市】

鳶の長沼の上を、霧が流れていく。
その中で、オシドリがたたずんでいた。

環境省では、11月13日(水)～11月17日(日)に仙台国際センターで「第1回アジア国立公園会議」を開催しました。その会場で、アクティブレングジャー写真展を開催し東北地方の国立公園や世界遺産地域、鳥獣保護区の魅力をアジアの方々に発信しました。

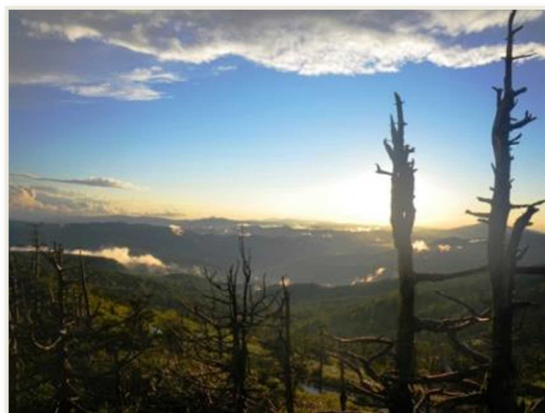
展示したのは、アクティブレングジャー10名が撮影した写真の中で厳選した「風景」と「生き物」の写真です。

皆様方も今一度自然の魅力を感じ取ってください。



八甲田の紅葉
【十和田八幡平国立公園】
【青森県十和田市・青森市】

一面の緑に紛れ込んでいた様々な種類の樹木。
秋が訪れ、その存在感を際立たせます。



雷雨の後のひとり占め
【十和田八幡平国立公園】
【秋田県鹿角市・岩手県八幡平市】

八幡沼で雷雨にあたり、見返り峠まで来たら、
雲が去って青空が広がりました。誰もいない、
ひとり占め中の八幡平夕景です。



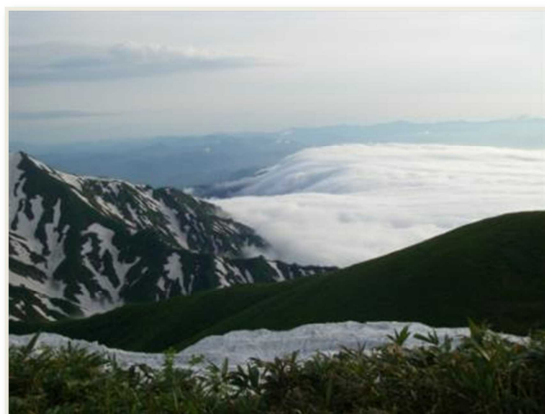
春到来
【国指定森吉山鳥獣保護区】
【北秋田市】

根元の雪が融け出す「根開き」が森の目覚まし時計。どんどん広がって、若葉が萌える。ああ～春だな～。



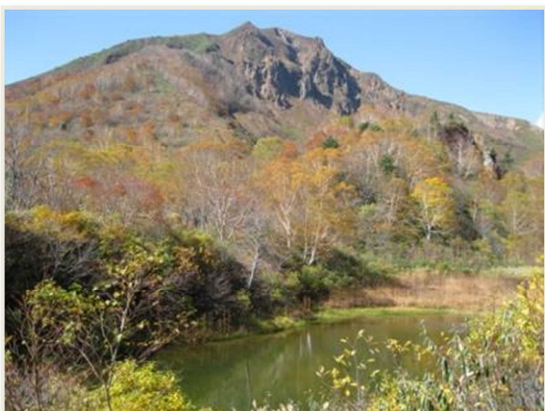
三陸の春
【三陸復興国立公園】
【岩手県久慈市】

まだ雪も降る早春、海には磯とりの風景が広がります。
三陸の海は豊かな恵みを育みます。



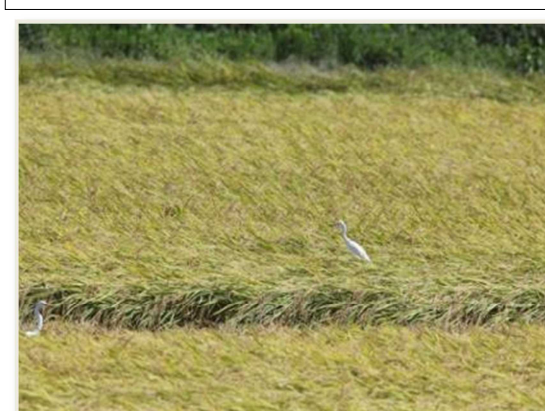
滝雲
【磐梯朝日国立公園(飯豊地域)】
【新潟県胎内市】

雲海が広がり 山の稜線から流れ落ちる雲の滝。珍しい自然現象です。また一つ自然の神秘に触れました。



磐梯山東壁と鏡ヶ池
【磐梯朝日国立公園】
【福島県猪苗代町】

猪苗代登山口から登るコースの途中には、迫力ある磐梯山の東壁と静かに佇む鏡ヶ池の横を通ります。



黄金のじゅうたん
【国指定伊豆沼鳥獣保護区】
【宮城県登米市】

伊豆沼周辺のたんぼが黄金に耀くとき、白鷺舞い降りる。